

| | | | | | | | |
|--|--|-----|------|---------|------------------|------------|----------------|
| 授業科目(ナンバリング) | 文化財保護論 (CB214) | | | 担当教員 | 小泉 優莉菜 | | |
| 展開方法 | 講義 | 単位数 | 2 単位 | 開講年次・時期 | 2 年・前期 | 必修・選択 | 選択 |
| 授業のねらい | | | | | | | アクティブ・ラーニングの類型 |
| テーマ：文化財の保護と活用 文化財保護の基本として、「守る」「残す」「学ぶ」「活かす」の4つの視点が存在し、「守る」と「残す」ことを主眼に文化財保護が行われてきた。一方、現状の文化財行政では、国の方針により文化財を「守る」「残す」ことから「活かす」ことへシフトし始めている。かかる点において、現在は文化財保護の大きな転換点であると言える。この現状を踏まえ、改めて文化財保護の概念・歴史を学び、文化財の保護と活用について理解を促すことを目的とする。 | | | | | | | ②⑨⑩ |
| ホスピタリティを構成する能力 | 学生の授業における到達目標 | | | | 評価手段・方法 | 評価比率 | |
| 専門力 | 文化財の保護と保全に関する基礎知識と専門的知識を同時に得ることができる。また、文化財保護の理念のもと、文化財の活用についても知識を得ることができる。 | | | | 確認テスト | 40% | |
| 情報収集、分析力 | | | | | | | |
| コミュニケーション力 | | | | | | | |
| 協働・課題解決力 | | | | | | | |
| 多様性理解力 | 文化財を多角的にとらえ、文化財の持つ力について理解し説明できる。 | | | | 確認テスト 授業内レポート | 20% 40% | |
| 出席 | | | | | 受験要件 | | |
| 合計 | | | | | 100% | | |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| 評価は、授業内レポート 40%、確認テスト 60%の配分で行う。 確認テストは筆記試験により行い、講義内容を十分に理解できているかを評価基準とする。 また、授業内小レポートを毎回課す。内容は、第 1 回授業の際に説明する。確認テストは、毎回の授業終了時に実施し、各授業の内容を明確に理解しているか、正確に記述しているかを問う。なお、課題レポート・確認テストは、ポートフォリオでフィードバックを行い評価する。 | | | | | | | |
| 授業の概要 | | | | | | | |
| 講義形態を主とし、パワーポイントを使用する。また、毎回授業時に小レポートを課す。学生証のタッチと小レポートの提出で出席確認を行う。授業内では文化財に関する映像資料を視聴しながら、体系的に文化財保護について学ぶ。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は180分とする。 | | | | | | | |
| 教科書・参考書 | | | | | | | |
| 教科書： 特に指定なし 参考書： 文化財保存全国協議会編 2017『文化財保存70年の歴史』新泉社、ほか第1回講義内で紹介する 指定図書： 古庄浩明 2018『文化財学の基礎』三恵社 | | | | | | | |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | | | | | | | |
| 文化財に関して興味を懐き、地域の文化財の保護・活用を担える人材になってほしい。そのためには、身近な文化財や博物館等を積極的に観覧し、見分を広めてもらいたい。 また、授業中の私語や指示の無いスマホの使用、理由のない遅刻・途中退席は認めない。 | | | | | | | |

| 回 | テーマ | 授業の内容 | 予習・復習 |
|----|-----------------------|--|--|
| 1 | ガイダンス 文化財保護 の歴史 | ・シラバスの説明 ・日本における文化財政策の歴史について学ぶ。 | 予習：シラバスを読み込むこと。 復習：日本の文化財の変遷について見直すこと。 |
| 2 | 装潢の文化 財① | 装潢の文化財について学び、取り扱いについて理解する。また、「紙」という文化財についても学ぶ。 | 予習：身の回りの「紙」について、興味を持って素材等確かめること。 復習：和紙の素材となる三種の植物について調べること。 |
| 3 | 装潢の文化 財② | 装潢の文化財を取り扱う際に特に注意が必要な点について、学ぶ。 | 予習：「装潢の歴史」について、事前に学習を進める。 復習：装潢の劣化について、自身でも調べてみる。 |
| 4 | 木彫の文化 財① | 木彫の文化財について、特に「劣化」について理由と防止について学ぶ。 | 予習：「木彫」について事前に調べておくこと。 復習：授業内で挙げたキーワードについて確認すること。 |
| 5 | 木彫の文化 財② | 木彫の文化財について、特に「修復」について学び理解する。 | 予習：「木彫」の作品について調べ、自身の興味のある作品について、よく知ること。 復習：木彫の劣化について、自身でも調べてみる。 |
| 6 | 漆工の文化 財① | 漆工の文化財について、制作ジャンルごとの名称について覚える。また、漆の歴史についても学ぶ。 | 予習：「漆工」について事前に調べておくこと。 復習：授業内で挙げたキーワードについて確認すること。 |
| 7 | 漆工の文化 財② | 漆工の文化財について、「修復」について学び理解する。 | 予習：「漆工」の作品について調べ、自身の興味のある作品について、よく知ること。 復習：漆工の劣化について、自身でも調べてみる。 |
| 8 | 第1回～7 回のまとめ | ここまでの授業のまとめを行う。 | 予習：1～7回の授業配布資料を確認し、不明点について明らかにする。 復習：授業内で重要点として説明した内容について確認する。 |
| 9 | 染織の文化 財① | 染織の文化財について、歴史や天然染料について学ぶ。 | 予習：「染色」について事前に調べておくこと。 復習：授業内で挙げたキーワードについて確認すること。 |
| 10 | 染織の文化 財② | 染織の文化財の保存方法について理解する。 | 予習：「染色」の作品について調べ、自身の興味のある作品について、よく知ること。 復習：染色の劣化について、自身でも調べてみる。 |
| 11 | 民俗文化財 ① | 民俗文化財について、指定種別の違いを覚える。有形民俗文化財と無形民俗文化財の違いについて理解する。 | 予習：自身の居住地ではどのような民俗文化財があるか調べてみる。 復習：授業内で挙げたキーワードについて確認すること。 |
| 12 | 民俗文化財 ② | 民俗文化財の素材別の保護と保存について学ぶ。 | 予習：民俗文化財の保存と記録について、調べてみる。 復習：授業内で配布した資料をよく読み込む。 |
| 13 | 埋蔵文化財 ① | 埋蔵文化財の意義と定義について学ぶ。 | 予習：自身の居住地ではどのような埋蔵文化財があるか調べてみる。 復習：授業内で挙げたキーワードについて確認すること。 |
| 14 | 埋蔵文化財 ② | 出土品の保存管理の方法について学ぶ。 | 予習：埋蔵民俗文化財の保存と記録について、調べてみる。 復習：授業内で配布した資料をよく読み込む。 |
| 15 | 総括（これからの文化財保護に必要なこと） | これまでの文化財保護論の総括として、論全体を概観することで、現在の文化財保護と活用に関する課題を探る。 確認テストを行う。 | 予習：テスト対策を行う。 復習：確認テストを踏まえて文化財に関する基本を再確認する。 |